

生ごみ処理機器使用状況アンケート調査結果

1 調査の目的

この調査は、生ごみ処理機器購入費補助金制度利用者を対象として、生ごみの減量状況・リサイクル効果等、生ごみ処理機器の使用状況を把握し、今後の事業の活性化と生ごみ減量施策等に反映させることを目的として実施するものである。

2 調査結果の概要

(1) 調査期間

平成 25 年 10 月 22 日（火）から 11 月 22 日（金）まで

(2) 調査対象

平成 16 年度から平成 24 年度までに「上天草市生ごみ処理機器購入費補助金」の交付を受けた市民（のべ 182 名の中から 100 名を無作為抽出）

(3) 調査方法

郵送

(4) 回収状況

回収数 74 （回収率 74%）

3 調査結果のまとめ

(1) 処理機の利用者の状況

利用者は、50～60 代以上、2～4 人世帯が最も多いことから、20 代～40 代の家庭に対する周知が必要であるということが分かる。

(2) 処理機の購入理由

購入理由は、「家庭のごみの減量のため」が約半数であることから、利用者のごみ減量に対する意識が高いということが分かる。

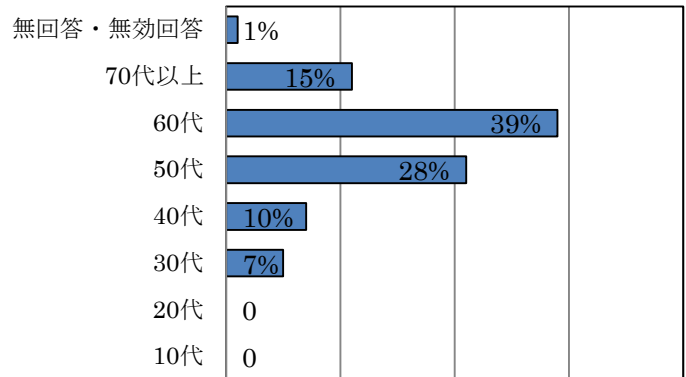
(3) 処理機の使用効果

利用者の約 7 割が現在も使用しており、保有している処理機は乾燥式が多いことが分かった。また、処理機の使用により、生ごみ及び可燃ごみの減量を実感されている方が多く、故障等があった場合でも修理または買替えを行うと答えた方が約 8 割もいることから、ごみ減量に一定の効果があるということが分かる。

4 調査結果

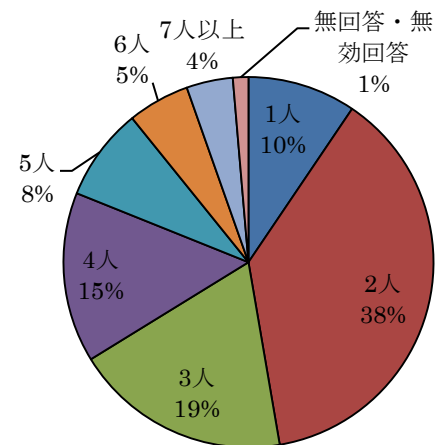
問 1 主に使用されている方の年齢は。

「60代」が最も多く、使用者の80%以上の方が50代以上となっている。



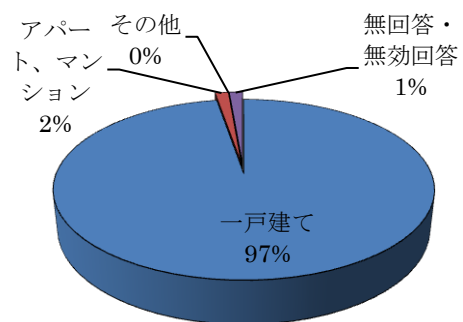
問 2 同居中のご家族の人数は。(回答者を含む。)

「2人」家族が最も多く、使用者の70%以上の方が2~4人家族となっている。



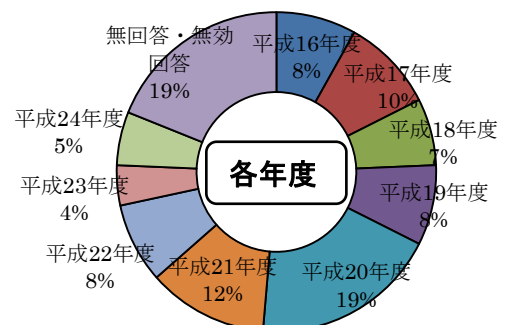
問 3 お住まいの形態は。

使用者の97%が「一戸建て住宅」に居住しており、アパート、マンション等の集合住宅では処理機の使用が難しいということがうかがえる。



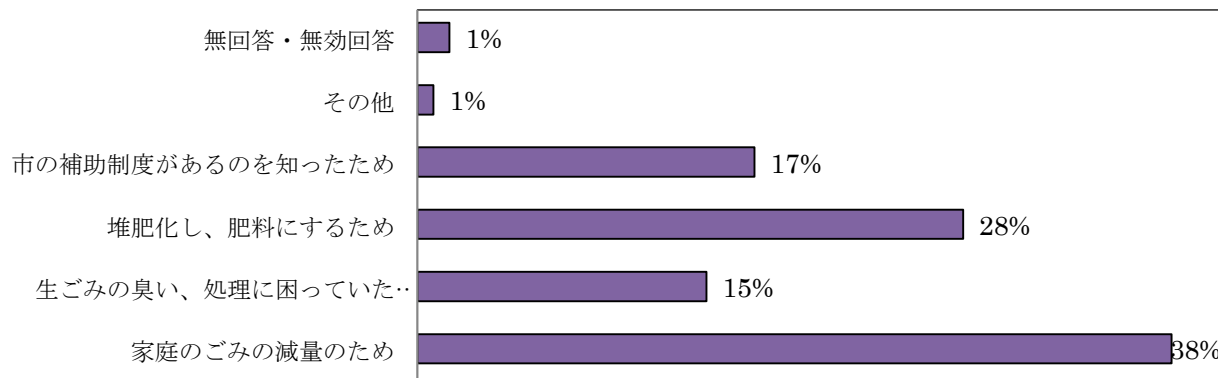
問 4 補助を受けた年度を教えてください。

概ね各年度の補助件数に比例した回答率になっている。



問 5 生ごみ処理機（以下「処理機」という。）を購入した理由は何ですか。（複数回答）

使用者の 50%以上の方が「家庭ごみの減量」「生ごみの臭い、処理等」の問題解決のため処理機を購入したことが分かる。また、肥料にするとの回答も多く、家庭で生ごみのリサイクルができていることが分かる。



<その他の回答>

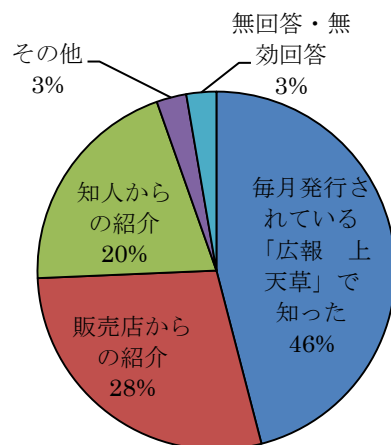
- ・「知人に勧められた」

問 6 市の補助制度はどこで知りましたか。

約半数の方が「広報 上天草」と答えており、補助制度の周知に効果があることが分かる。

<その他の回答>

- ・「外部情報で市に問合せした（他の市ですでにサービスがあるとのことで）」
- ・「市役所に来たとき」

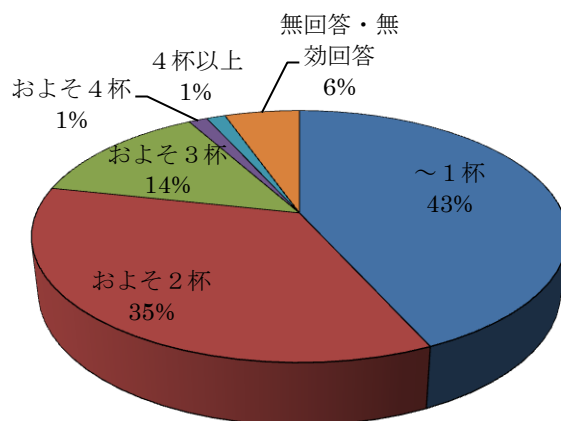


問 7 家庭から 1日に発生する生ごみの量はどのくらいですか。

※三角コーナーの分量（1杯約 500g）をお願いします。

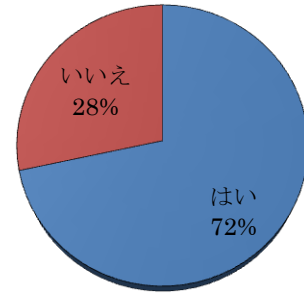
使用者の約 80%の家庭が、1日に約 1～2 杯程度の量の生ごみが発生する事が分かる。

また、問 2 の家族の人数（1～4 人世帯：82%）から換算すると、1日に発生する 1人当たりの生ごみは 0.5 杯（約 250g）であることが分かる。



問 8 現在も、処理機を使用されていますか。

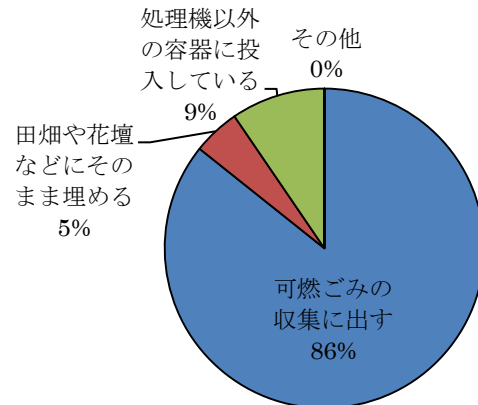
使用者の70%以上の方が、現在も処理機を使用しており、生ごみの減量に効果があるものと思われる。



問 8 で「いいえ」と答えた方 (21 人)

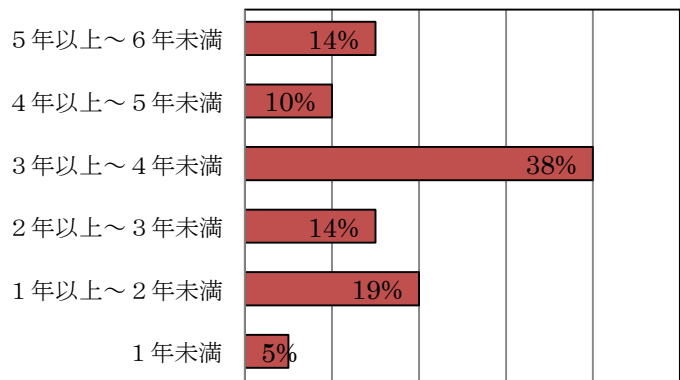
問 9 現在、生ごみをどのように処理されていますか。

使用を止めた大多数の方が、生ごみを可燃ごみとして再び排出していることが分かる。



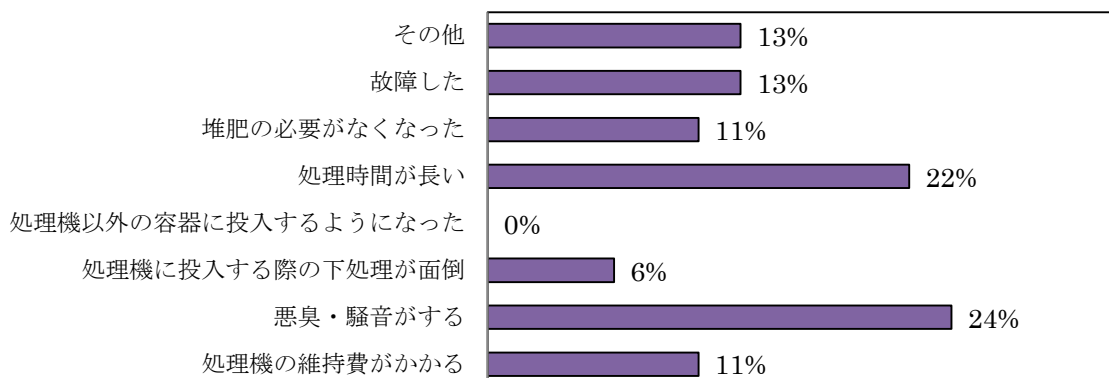
問 10 処理機の使用期間はどのくらいでしたか。

「3年以上～4年未満」との回答が最も多く、本補助金交付規則では、1度交付を受けた者は、機器購入後5年を経過しなければ再申請ができないこととなっているが、使用を止めた大多数の方が5年未満で使用を止めていることが分かる。



問 11 処理機の使用をやめてしまった理由を選んでください。(複数回答)

処理機の性能等の問題が原因であることが分かる。



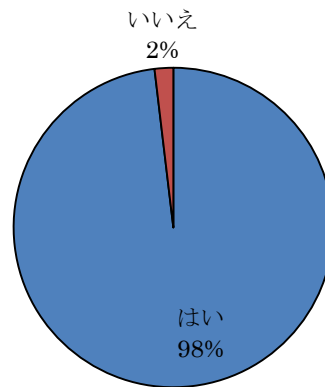
<その他の理由>

- ・「堆肥として畑に入れていたけど、動物に掘り起こされて畑が台無し」
- ・「処理した後の機器の手入れが面倒」
- ・「家族の人数が減り、生ごみの量も減ったため」
- ・「家族が少なくなった」
- ・「電気料金が思ったより高くなった」

問 8 で「はい」と答えた方 (53 人)

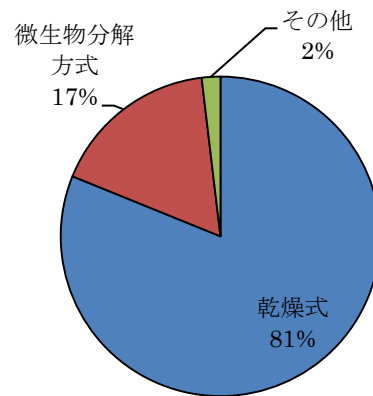
問 12 現在使用されている処理機は補助を受けたときのものですか。

使用者のほぼ全員の方が、補助を受けたときのものを使用している。



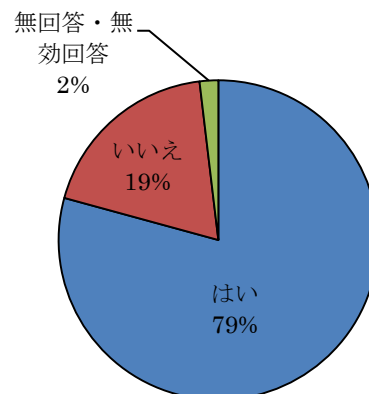
問 13 現在使用されている処理機の処理方式は。

使用者の約 80%の方が乾燥式の処理機を使用しており、乾燥式の需要が高いことが分かる。



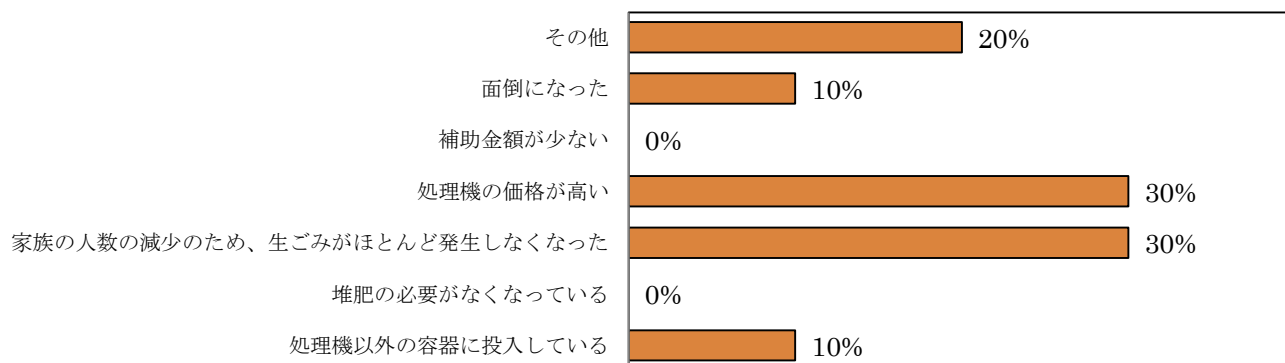
問 14 もし処理機の故障などがあった場合、修理をして使い続けますか。または買い替えて使いますか。

使用者の約 80%の方が処理機の効果を実感していることが分かる。



① 前の問で「いいえ」とお答えの方にお尋ねします。買い替えない主な理由を1つ選んでください。

「処理機の価格が高い」「家族の人数の減少のため、生ごみがほとんど発生しなくなった」との回答が同数で最も多かった。また、「その他」の理由から、処理機の使用法、仕様等を知らずに購入していることが分かる。

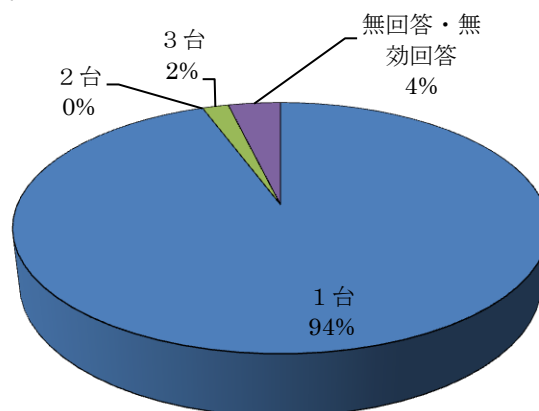


<その他の理由>

- ・「シンクにつける粉砕するタイプに変更する」
- ・「投入する際の下処理が面倒（骨類が入れられない）」

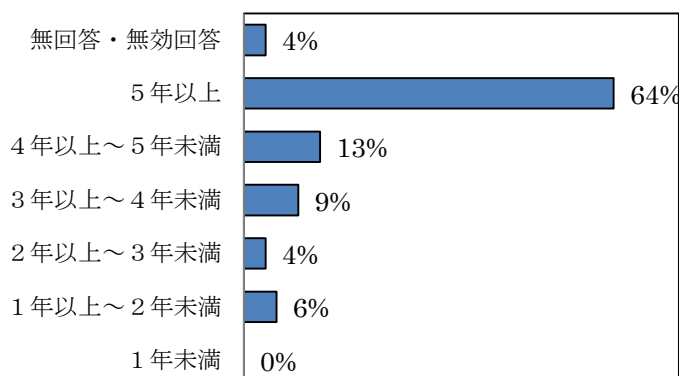
問 15 ご自宅には何台の処理機を設置されていますか。

使用者のほぼ全員の方が、発生した生ごみを1台で処理していることが分かる。



問 16 処理機の使用期間はどのくらいですか。（現在、何台か買い替えをされている場合でも、最初の処理機を使用し始めてからの通算をお願いします。）

使用者の60%以上の方が「5年以上」使用しているとの回答が最も多かった。



問 17 処理機をどこに設置していますか。

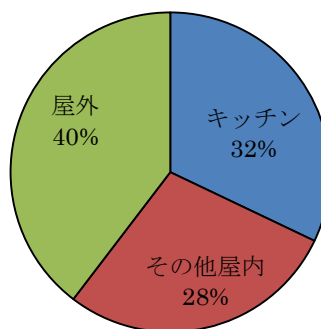
使用者の約半数が屋内・屋外で分かれています。

<その他屋内>

キッチンの隣の部屋、物置内、土間 など

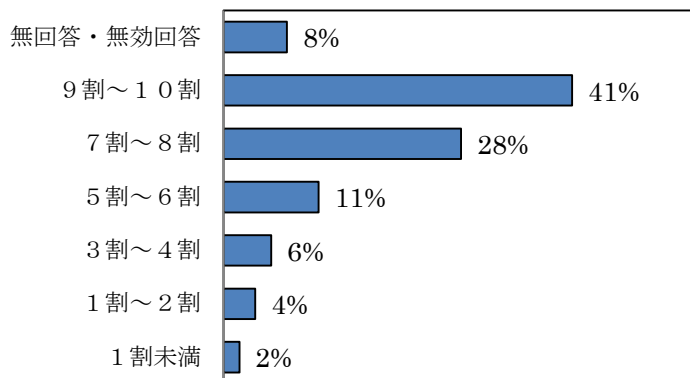
<屋外>

勝手口のそば、テラスの下、軒下 など



問 18 家庭から 1 日に発生した生ごみのうち、どのくらいの量を処理機に投入されていますか。

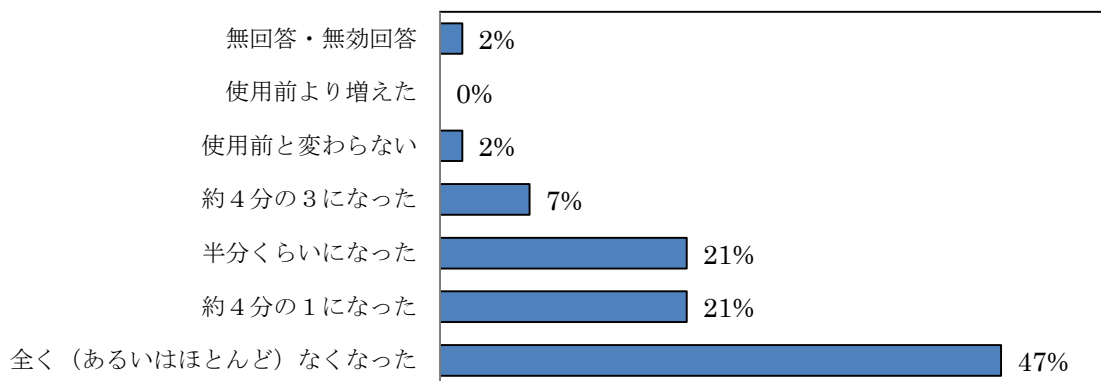
「9 割～10 割」と答えた方が最も多く、次いで「7 割～8 割」となった。このことから、発生した生ごみの大半が処理機で処理されていることが分かる。



問 19 処理機を使用してからのごみの量を教えてください。

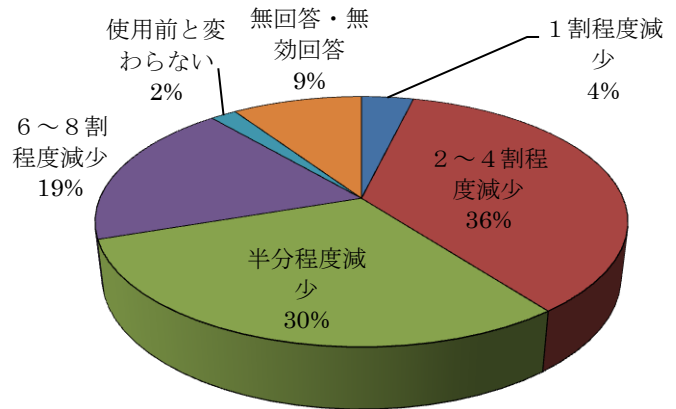
① 収集日に出す野菜くずなどの生ごみの量はどのくらいになりましたか。

使用者の約半数の方が「全く（あるいはほとんど）なくなった」と答えており、次いで「約 4 分の 1 になった」、「半分くらいになった」と答えた方が同数だった。このことから、処理機は生ごみの減量に大きな効果があることが分かる。



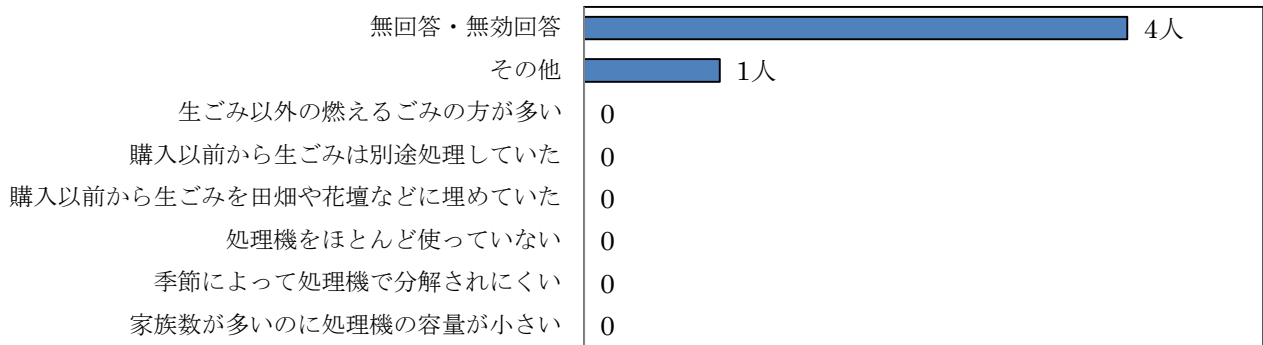
② 家から出る全体の可燃ごみの量をどのくらい減らせたと思いますか。

使用者の89%の方が可燃ごみが減ったと回答しており、また、49%の方が家庭から出る可燃ごみの半分以上の減量に成功していることが分かる。



③ ①・②の設問で「使用前と変わらない」または「使用前より増えた」とお答えの方にお尋ねします。その最も大きな理由を1つ選んでください。

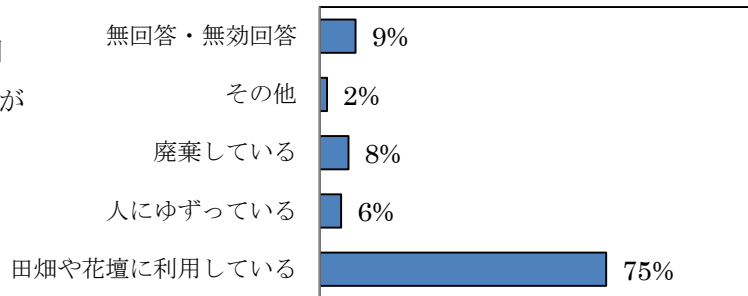
該当者：5人



<その他の理由> ・「生ごみは以前からコンポストで処理していた」

問20 処理機でできた堆肥の利用方法にあてはまるものを選んでください。

使用者の約80%の方が田畑や花壇に利用するなど、家庭で有効に活用していることが分かる。

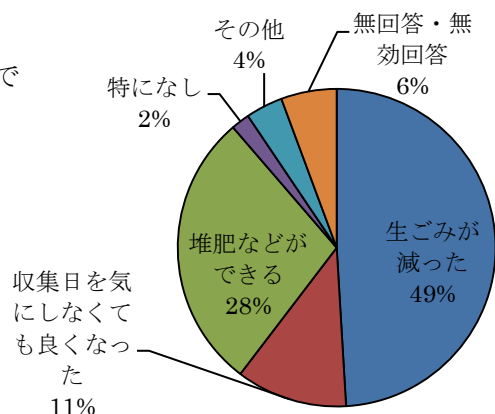


問21 処理機を使用して最も良かった点を1つ選んでください。

「生ごみが減った」との回答が49%と最も多く、次いで「堆肥などができる」となった。

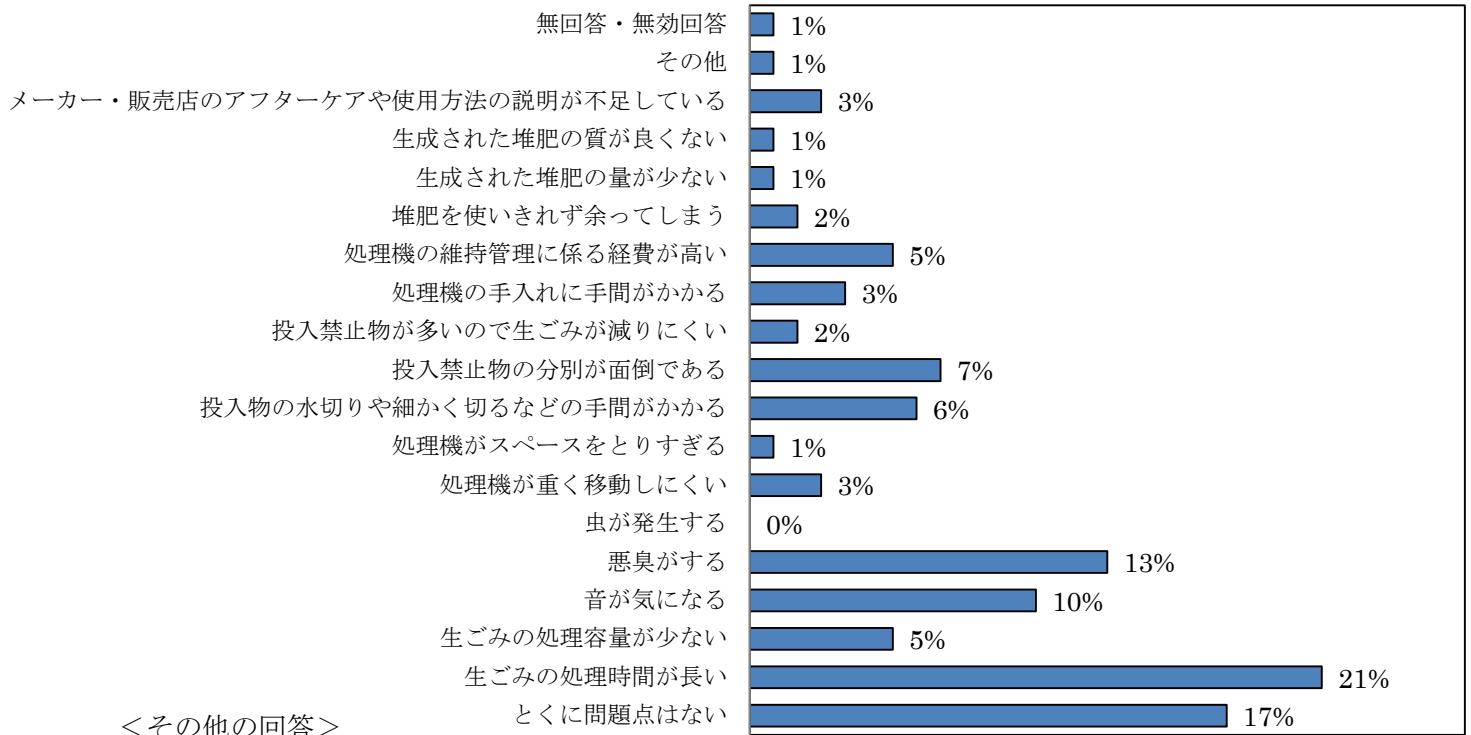
<その他の回答>

- ・「生ごみの臭い、ハエ」
- ・「悪臭がなくなり良くなった（特に夏）」



問 22 処理機を使用するうえで問題点にあてはまるものを選んでください。(複数回答)

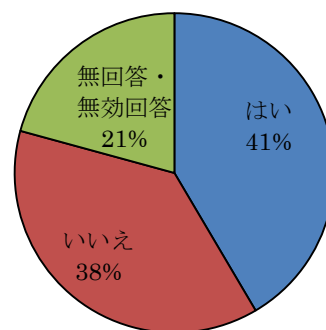
「生ごみの処理時間が長い」と答えた方が最も多く、全体的に処理機の仕様、性能、また処理機に投入する際の生ごみの下処理等が問題点であることが分かる。



・「もみから投入式なので、1年分準備することが大変」

問 23 処理機を使用すること以外にごみ減量に向けて取り組んでいることがありますか。

回答者の約半数の方が、個別に取組みを行っており、市民のごみ減量に対する意識の高さがうかがえる。



◆ごみ減量の取組み

エコバッグの使用、 unnecessaryな包装を遠慮している
ごみの分別によるリサイクル (6人)
コンポストを併用している (4人)
野菜くずなど畑に埋めて堆肥としている (6人)
貝殻類は海に返す、スイカの皮は乾燥させる
葉物は小さく刻んで鶏のえさにしている

EM（有用微生物群）の活用
できる限り水切りをする
材料はなるべく全部使用し、料理を多く作らない
なるべく食べ残しがないようにしている

問 24 生ごみ処理機または補助事業に関するご意見・ご感想などがありましたらご記入ください。

◆ご意見・ご感想等

補助事業は続けてもらいたいし、使っていない人も居るので、補助金を出すときにしっかりと説明して欲しい。
買い替え時の補助、又は、処理機材費用の助成がありましたら良いと思います。
アパートには、設置場所の問題があるかもしれないが、一戸建てへは補助金を増やし、PRをすれば、生ごみ処理場にかかる予算も減るのではないのでしょうか。ぜひ、補助金増額を検討して頂きたい。
生ごみ処理機の性能が良いものがあれば積極的に購入したい。その際の補助事業は大変良い。
2台目を買い替えても補助があればいいけど無いのですか。
魚の内臓や硬い骨は利用しにくい。シンクの排水溝につける粉碎するものに補助がほしい。現在、合併処理設備とEM菌を利用しています。
次回も買いたいので補助を続けてほしい。
補助事業についてのお知らせを折にふれて、回数を増やす方法をお願いします。
また、買い替えるつもりなので補助はずっと続けてほしい。
各家が使用するように推進してほしい。ごみについての教育を小さい時から行うことが大事だと思う。
「タフコンポ」花壇、畑のある家に希望者に無料で!!生ごみは少なくなると思います。
家に1台ずつあったらいいと思います。
全量でなくてもエコ生活していると思えて、少しでも気持ち的に自然環境にやさしいかなと思えるようになった（自己満足）。私達が購入した頃より処理機の価格が上がっていると思います。たくさん普及するとエコになりますが、補助事業は大変良い事でいいと思います。上天草市では月1回の分別ごみの日がある時に処理機パワーを知ってもらえともっと広く使ってもらえるのかなあとと思います。自然のものは自然に戻す活動応援します。
処理機に補助がある事をあまり知られていない。
時々しか使用しない
そろそろ買い替えの時期ですので、補助事業は続けてもらいたいと思います。
多くの方が利用できる様取り組んで欲しいです。
生ごみ処理機の補助事業の継続をお願いします。とても助かっています。